

ドパミン作動性パーキンソン病治療剤  
レストレスレッグス症候群治療剤

# プラミペキソール塩酸塩錠 0.125mg「DSEP」 プラミペキソール塩酸塩錠 0.5mg「DSEP」

プラミペキソール塩酸塩水和物錠

## 効能・効果、用法・用量追加のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社製品につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、このたび上記製品の効能・効果、用法・用量の追加が承認されましたので、下記の通りご案内申し上げます。  
今後とも引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

#### ● 今回承認された内容(下線部)

##### 【効能・効果】

1. パーキンソン病
2. 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)

##### 【用法・用量】

###### 1. パーキンソン病

通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として1日量0.25mgからはじめ、2週目に1日量を0.5mgとし、以後経過を観察しながら、1週間毎に1日量として0.5mgずつ増量し、維持量(標準1日量1.5~4.5mg)を定める。1日量がプラミペキソール塩酸塩水和物として1.5mg未満の場合は2回に分割して朝夕食後に、1.5mg以上の場合は3回に分割して毎食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減ができるが、1日量は4.5mgを超えないこと。

###### 2. 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)

通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として0.25mgを1日1回就寝2~3時間前に経口投与する。投与は1日0.125mgより開始し、症状に応じて1日0.75mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。

##### 【お願い】

・今般の「効能・効果」および「用法・用量」の追加に伴い「使用上の注意」も改訂されております。「効能・効果／用法・用量／使用上の注意改訂のお知らせ」ならびに「改訂添付文書」を参照賜りますようお願い申し上げます。  
・流通在庫の関係から、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでに若干の日数が必要ですので、ご使用に際しましては、弊社ホームページ(<http://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>)の「お知らせ」ならびに「改訂添付文書」等を参照賜りますようお願い申し上げます。

以上

製造販売元

第一三共エスファ株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

販売提携



第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1